

学校設定教科「地域体験」

科目名「チャレンジ」について

設置の理由

本校は地域に信頼され、親しまれる高校を目指して学校作りをおこなっています。生徒一人ひとりが体験を通して郷土に学び、自己を見つめながら生徒自らのキャリアについて考え、地域に貢献できる人材を育成するため設置しました。

目 標

- (1) 郷土や地域社会の中で受け継がれている人と人との絆などについて理解を深め、福祉施設、保育園での実習を行い、地域の発展や創造に貢献しようとする意欲と態度を育成する。
- (2) 中条地区の農業、森林整備を通して、地域の豊かな自然を守っていきこうとする意欲や環境に対する興味・関心を高め、環境に配慮して行動する意欲と態度を育成する。
- (3) 古典から現代までの郷土に残る文学、伝統芸術、伝統工芸、芸能の多様性を理解し、紹介したり説明したりできる能力を身に付ける。

単 位 数 1単位（35時間）

学 年 1～3学年合同

1学期の予定

学 期	時 間	月	日	曜	時 限 時間帯	内 容	指導方法	備 考 (教材, 場所等)
1 学 期	1	4	11	月	5限目(50分)	中庭への花の苗植え	全体	中庭
	2	4	18	月	5限目(50分)	学校周辺 草取り、ゴミ拾い	〃	学校周辺
	3	4	25	月	5限目(50分)		〃	
	4	5	9	月	5限目(50分)	全体オリエンテーション(目的・意義・方法他)	〃	視聴覚室
	5	5	16	月	5限目(50分)	グループごとのオリエンテーション	グループごと	HR教室、グラウンド
	6	5	30	月	5限目(50分)	グループでの活動	〃	など
	7	6	6	月	5限目(50分)		〃	
	8	6	13	月	5限目(50分)		〃	
	9	6	20	月	5限目(50分)		〃	
	10	6	27	月	5限目(50分)		〃 (1年生家庭訪問)	〃

《今年度実施のコース》

・ スポーツ（地区大会に向けて）

生涯を通じておこなう機会が多い、ソフトボール等を中心に学び、技術の向上・ルール・審判法・マナー等を習得するとともに中条地区のスポーツ大会に参加し、地域の人々と交流を行う。

・ 工芸（地域での展覧会）

昨年までの工芸コースで培ってきたものを継続したもので、地域の素材を生かした工芸品の制作をとおして、工芸を愛好する心情を育てる。また生活を豊かにするために工夫する態度、感性、創造的な工芸の能力を伸ばす。小川村での展覧会をする。

・ 園芸・畑作り（小中学生徒の交流）

この西山地域は、かつて急傾斜地に麦や豆を栽培したり、麻や桑を植えたりして生計を立ててきました。その中でかつて本校は、西部農学校、中条農学校として、地域を担う農業従事者を育成してきました。地域の方から技術や知恵を学び、花作り、西山大豆栽培をしていく。中条小中学生も栽培している西山大豆を使って交流をしていきたい。

・ 福祉施設訪問

昨年までの福祉・ボランティアコースで培ってきた地域との関係を継続したもので、高齢者や身体障害者のための基礎的・基本的な知識と技術を習得し、実習を通し福祉に寄与する。

上記の4コースからいずれか1コースを選ぶことができます。